

第 124 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(平成 30 年度 第 3 回)

- ・日 時 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 15:00～15:40
- ・場 所 浜田キャンパス会議室、出雲キャンパス大会議室、松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、江口副学長、山下副学長、岸本副学長
林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、マユ一教務部長、佐藤学生生活部長、今中学生生活部長、田中学生生活部長、石橋看護学研究科長、狩野別科長、李 NEAR センター長、落部事務局長

○第 123 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 123 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 非常勤講師の任用について(浜田キャンパス)

林総合政策学部長から、非常勤講師の任用について、資料(略)により説明があり、承認された。

(2) 教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について(出雲キャンパス)

山下副学長から、教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について、報告事項(1)と合わせて資料(略)により説明があり、承認された。

清原学長から、選考はいつごろまで行うか確認があり、山下副学長から、早い時期に終えたい旨の回答をされた。

(3) 教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について(松江キャンパス)

柴田事務室長から、教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成について、資料(略)により説明があり、承認された。

(4) 大学院学則改正(平成 31 年 4 月)について(出雲キャンパス)

山下副学長から、大学院学則改正について、資料(略)により説明があり、承認された。

清原学長から、配当年次が通と記載のあるものは通年のことか確認があり、山下副学長から、そのとおりの旨を回答をされた。

(5) 島根県立大学総合政策学部履修規程の改定について(浜田キャンパス)

犬塚教務部長から、島根県立大学総合政策学部履修規程について、資料(略)により説明があり、承認された。

清原学長から、不正行為の中身について確認があり、犬塚教務部長から、カンニングや剽窃のことであるとの回答をされた。

佐藤学生生活部長から、施行される日程について確認があり、犬塚教務部長

から、10月1日を予定していると回答された。続いて佐藤学生部長から、9月卒業の卒業研究は該当しないのか確認があり、犬塚教務部長から、該当しないとの回答をされた。

清原学長から、認証評価のこともあり、不正行為についての規程は全学的に統一しておく必要があるので、他の学部・大学院についても規程の整備状況を確認してもらい、必要に応じて統一しておくよう発言をされた。

(6) 地域貢献推進奨励金について（本部企画調整室）

福間企画調整室長から、地域貢献推進奨励金について、資料（略）により説明があり、承認された。

佐藤学生生活部長から様式1の申請代表者は専任教員か確認があり、福間企画調整室長から、そのとおりの旨を回答した。

(7) 有限会社本田商店との包括的連携に関する協定について（出雲キャンパス）

山下副学長から、有限会社本田商店との包括的連携に関する協定について、資料（略）により説明があり、承認された。

清原学長から、教員が本田商店との連携活動ということで参画すると、利益相反の問題及び兼業の問題が出てくる場合があるので、それらに十分配慮した上で連携活動をすすめてもらいたい旨の発言をされた。

《報告事項》

(1) 専任教員の選考開始の学長発議について（出雲キャンパス）

※審議事項（2）で説明済みのため省略

(2) 平成29年度業務実績報告について（本部企画調整室）

福間企画調整室長から、平成29年度業務実績報告について資料（略）により報告があった。

(3) 北東アジア地域研究センター准研究員の決定について（本部企画調整室）

福間企画調整室長から、北東アジア地域研究センター准研究員の決定について、資料（略）により報告があった。

(4) 北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて（本部企画調整室）

福間企画調整室長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて資料（略）により報告があり、今回受け入れた7名を含め現在25名の登録があるとの発言をされた。

(5) その他

清原学長から口頭により、ロシア海洋国立大学の練習船ナジェジュダ号が浜田港に寄港しており、ナジェジュダ号の学生や乗組員が本学を表敬訪問したり、本学学生との交流事業を行っている旨の報告があった。

次回開催予定：平成30年7月25日